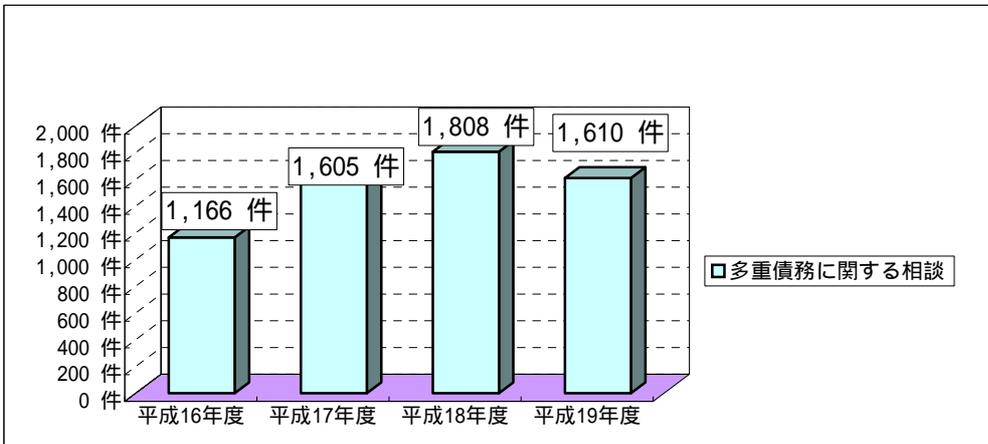


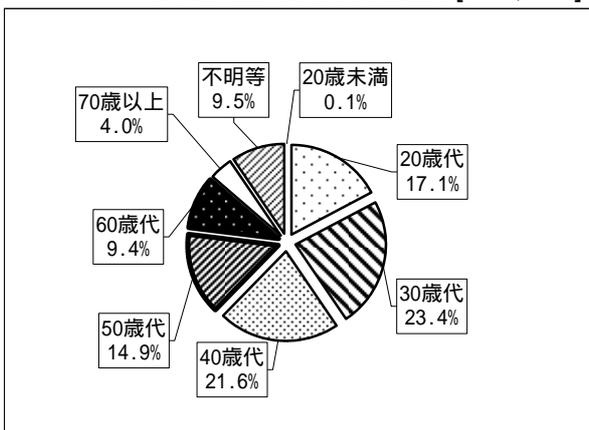
(4) 多重債務に関する相談

多重債務に関する相談は、前年度に比べて相談件数が減少したものの、1,610件と平成17年度と同水準の相談が寄せられた。契約当事者の年代をみると各年代から相談が寄せられており、前年度と比較すると60歳代の相談件数が増加した。職業別では給与生活者が6割を占めており、前年度と比較すると学生からの相談が増加した(図 - 14 ~ 16/表 - 5 ~ 6)。

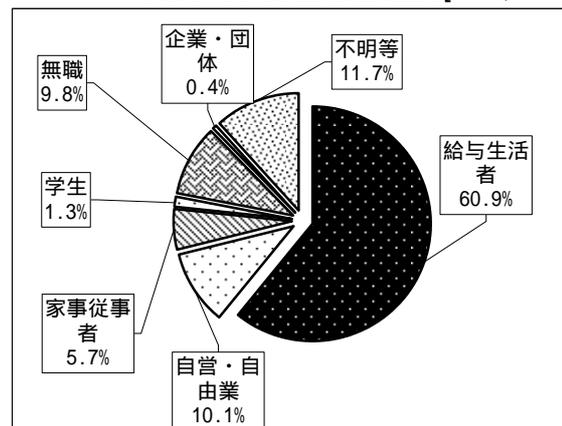
【図 - 14】 多重債務に関する相談件数の推移



【図 - 15】 多重債務に関する相談
契約当事者年代別割合 [n=1,610]



【図 - 16】 多重債務に関する相談
契約当事者職業別割合 [n=1,610]



【表 - 5】 多重債務の相談
契約当事者年代別件数対前年度比

	平成18年度	平成19年度	対前年度比
20歳未満	1	1	100.0%
20歳代	317	276	87.1%
30歳代	449	376	83.7%
40歳代	390	347	89.0%
50歳代	300	240	80.0%
60歳代	131	152	116.0%
70歳以上	73	65	89.0%
不明等	147	153	104.1%
計	1,808	1,610	89.0%

【表 - 6】 多重債務の相談
契約当事者職業別件数対前年度比

	平成18年度	平成19年度	対前年度比
給与生活者	1,106	981	88.7%
自営・自由業	181	163	90.1%
家事従事者	100	91	91.0%
学生	12	21	175.0%
無職	210	158	75.2%
企業・団体	11	7	63.6%
不明等	188	189	100.5%
計	1,808	1,610	89.0%

東京都の対応：東京都では、一人でも多くの多重債務者救済を目指して、多重債務問題を抱える相談者を法律専門家に確実につなげ、問題解決のための道筋ができるまできめ細かくフォローアップする「東京モデル」を新たに構築し、平成20年4月から本格実施しています。